
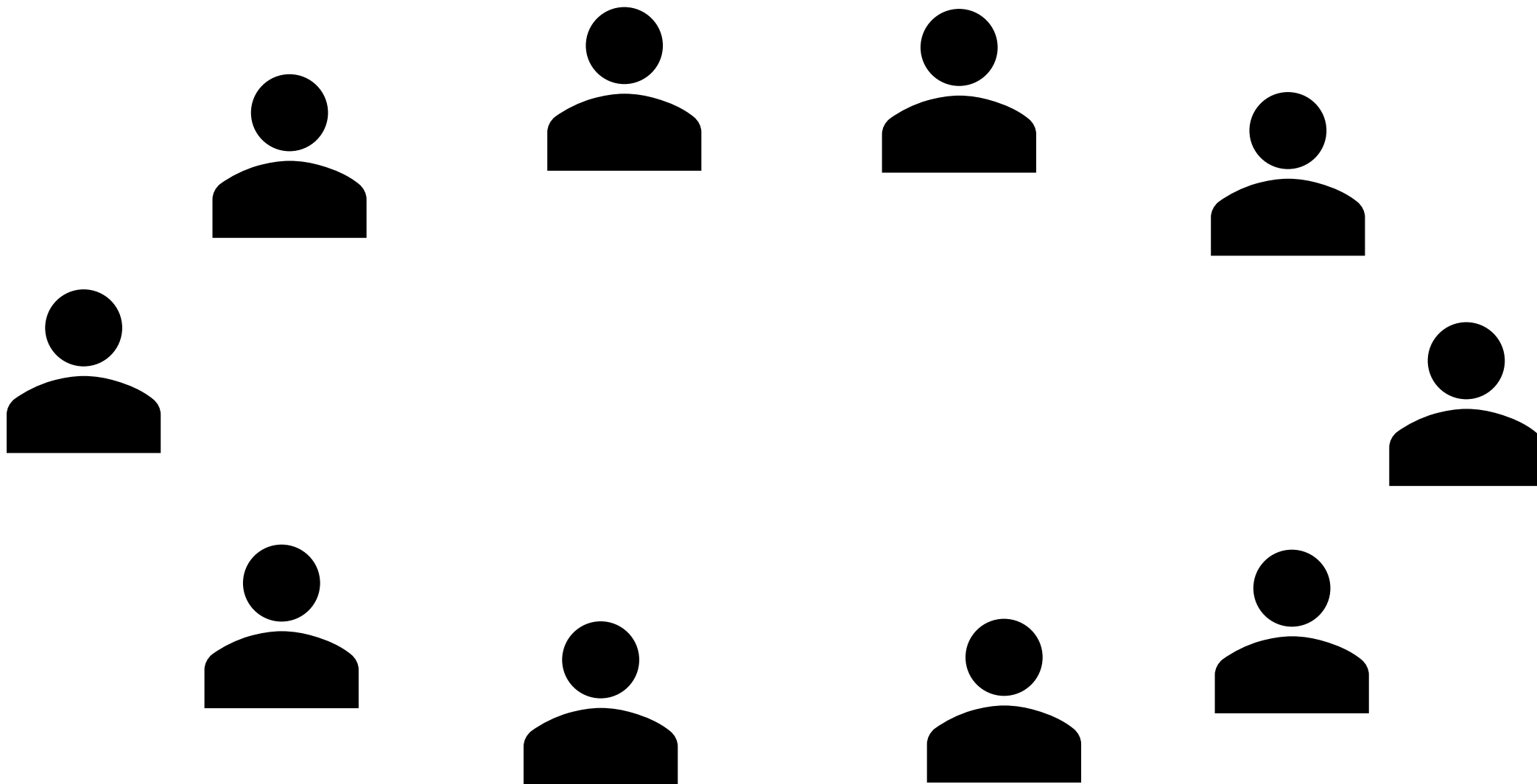


「熟議」をやってみよう！



CS委員会での
「より深い相互理解」・「より効率的な共有の場」を
みんなでつくるために

▶ CS委員会を「話し合える」場にしよう！



▶ 「熟議」をやってみよう！・・・の前に

- 「熟議」って何だろう？

 - 「熟」 = 「よくよく」「とっっても」「たくさん」

 - 「議」 = 「話し合う」

 - 付箋を使うだけが「熟議」ではありません。

- なぜ「熟議」なの？

 - ◆ 会議に出ても発言しないで帰る人がいる。

 - 全員が発言できるようにするには？（傍観者を作らない）

 - ◆ 特定の人意見に強く流されてしまう。

 - 全員が平等の一票であるためには

 - ◆ 議論の足跡が残らない。

 - 話し合いを可視化するためには？

 - 合意形成のプロセスを大切にするには？

「ファシリテーター」って何するの？

・ファシリテーターの役割

- ◆進行が円滑に行われるよう、中立的な立場から支援を行う役割を担う人。そのための手法や技術をもつこと。
- ◆参加者のもつ力を最大限に引き出すこと。

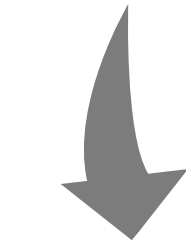
⇒ **ファシリテーションの最終目的は、参加者自らが生産的な議論の場を創造し、ファシリテーターが不要になる状態**

⇒ **自分たちで会議をデザインしていこう！**

▶ 「個人の意見、思い」を「みんなの思い」にしていくには



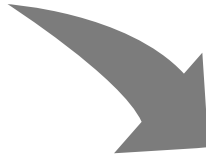
話し合い、聴き合って相互理解、個人の意見をチームの意見にまとめていく。



意見



この時点では
個人の意見



大事なはこの先!

▶もちろん、シナリオを作ります。

テーマ：

ゴール：

13：30～14：25まで！

5分	趣旨説明、導入、 発問：ちょっと ルール説明	今日はその「熟議」も体験していただきながら、子どもたちの活動や行事、イベントが、子どもたちの育成にどんな意味があるのか？学びとどうつながっているのか？などを話し合うことで、共通認識をもち、あらためて学校と保護者地域のみなさんが、目指すもの、育てたい子ども像を共有しあうことができれば、と思っています。 早速ですが… ルールを説明します……
2分	問い1 書く時間	【エピソード】こんなエピソードがあった、子どもがこんなことを言っていた、こんなステキな出来事、感心したこと、をあげてください。
10分		書いたら、模造紙に意見を出し合いながら話を深めてみてください。
10分	問い2	【思い、意見をまとめていく】このイベントをとおして、子どもたちはどんな力を身に付けることができるでしょう？

▶もちろん、シナリオを作ります。

10分	問い3	<p>【学校教育目標と付け合わせていく】学校が掲げている教育目標を見てみましょう。これが、この高島三中学区の「みどりの学びのエリア」の「目指す子ども像」です。「学校の思い」なわけですね。</p> <p>この学校の思いと、皆さんの思いをつなげてみましょう。どんなふうにつながりますか？</p> <p>十分につながっている部分は、どれか？足りない部分はどこか？</p> <p>分析しながら話し合ってみましょう。</p>
残り	問い4	<p>【次へつなげていく】十分につながっている部分は、「売り」「魅力」です。</p> <p>一方、足りていない部分は、「のびしろ」ですよね。</p> <p>来年度、どんなふうに工夫できるか？</p>
10分	発表	<p>発表の時間はとても大切です。発表することで、全員が共有できるからです。</p> <p>では、どんな話ができただか。</p> <p>できれば全グループ、時間によって</p>
3分	講評	校長先生

▶話し合いの「約束事（ルール）」も作ります。

自分たちの話し合いの場を大切にするための「OURルール」を作しましょう！

◆付箋には1枚に一つのことを書きます。	付箋は、意見が見える化するために使う物。 長い文章などで細かく書くと一目ではわからない。 いくつものことが書いてあるとあとで分類しにくい。
◆人の話はよく聴く。	意見を尊重し合うため、誰かが発言しているときはしっかり聴く姿勢が大切。
◆人の意見を否定したり批判したりしない。	安心して意見が言える場をつくり、全員が意見を言えるために
◆前向きに考えましょう。	当事者として話し合いに参加してもらうためには、ポジティブに

▶では、いよいよ「熟議をやってみよう！」

テーマ： ゴール：		：	～	：	まで！
分	自己紹介タイム				
分	①板橋区の（あなたの学校の）子どもたちのいいところを出し合いしましょう。 ②「こうなってほしいな」という願いを出し合いましょう。				
	③個人の意見を、「みんなの意見」にするために分類してみましよう。				分類例：「知」「徳」「体」「○○」
	④これまでやってきたこと、やっていることを出し合い、①②とどうつながっているかを話し合いましょう。				
	⑤地域の力を生かして、もっとやれることをアイデア出ししてみましよう。				

▶ 振り返り

準備が大事！

◆ 場をデザインする

- 熟議の目的
- 話し合いのゴール
- 時間設計
- 机の配置

◆ 話し合いのゴール（着地点）で大事な事

- 結論についての「理解」「合意」「納得」
- プロセスについての「納得感」
- アクションの選択と合意「なぜ」